

## 会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第9回会議
開催日時	令和2年8月4日（火） 13:30～16:00
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 フェーズフリーについて 2 スケジュールについて 3 平面計画について 4 にぎわいのある空間の方向性について
配布資料	資料1 日常時も非日常時にも連続的に価値を有した庁舎 資料2 スケジュール 資料3 平面ゾーニング比較表 資料4 配置イメージ図・平面イメージ図・3Dモデルイメージ 資料5 にぎわいのある空間の方向性
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	1 フェーズフリーについて 2 スケジュールについて 3 平面計画について 4 にぎわいのある空間の方向性について
<b>1 フェーズフリーについて（事務局説明）</b>	
基本計画にも記載した、災害時にだけ使うものを備えるのではなく、日常使いなれた設備や備品が災害対応や復旧、復興に役に立つといったフェーズフリーの考え方を説明し、新庁舎整備推進室で検討中の災害時系列ごとに活用できる機能について、資料に基づき説明を行った。	
<b>2 スケジュールについて（アトリエブंक説明）</b>	
今後の検討委員会の日程等も含めて、全体スケジュールを説明	
<b>3 平面計画について（アトリエブंक説明）</b>	
プロポ案からの変更点を示した平面ゾーニング比較表、敷地内全体の計画となる配置イメージ図、新庁舎のそれぞれの機能の配置した平面イメージ図について、コンセプトと合わせて説明を行った。	
今会議では、役場機能とにぎわい空間について、施設内の温度、音の管理、セキュリティなどを考慮したゾーニングの考え方を説明し、執務室内の課や諸室の配置やカウンター形状、にぎわい空間内のランドリー、カフェ、フィットネスクラブの配置などの詳細については、次の検討委員会で示すこととした。	
<b>【平面計画のコンセプト】</b>	
アクセスが多いことが想定される西側の駐車場側をメインの入口とし、プロポ案のじゃがいもストリート東側の1階入口を廃止し、国道側からは、バス待合所にもなる地階に入口を設けることとした。	
公民館機能となる活動室やサークル室は、夜間でも利用してもらえるように賑わいゾーンに配置し、検診会場やスタジオにも兼用できるように考えている。	
「歩いてまわれるまちづくりの結節点」をコンセプトとし、どこからも自由に来ることができ、災害時でも安全に歩いてこられるようなアクセスとする。西側は空地で残し、災害時は防災広場として災害対応車両の駐車スペース、資材置き場として利用し、日常時にはイベントもできるスペースとする。	
建物の形状は、国道の歩道からみて圧迫感を与えないように、また、市街地の商店街が東西	

<p>に長い店舗が並んでいるのが特徴的であるため、市街地との一体感を出すことを考え、横長のユニットが並列しているような短冊状とした。また、ゾーンごとに区分できるため、省エネ効果を高めることができ、じゃがいもストリートを吹き抜けとすることで自然採光、自然換気を行うことができる形状となっている。</p>
<p><b>【質疑応答】</b></p>
<p>■ 南側のメモリアルパークという名称は、外国では墓地の名称に使われることが多いため、ミズナラパークなどに変更はできないか。</p>
<p>→ 仮につけた名称であるため、今後検討していきたい。</p>
<p>■ にぎわい空間で遊んでいる子供の声やBGMが執務室内にも響くのではないか。音や匂いのゾーニングも考えているのか。</p>
<p>→ 執務室とじゃがいもストリートの区切りの仕方や床材などの工夫によって、音や匂いを広げないことはできる。大きな音を出すスタジオは、防音の部屋にする必要があると考えている。</p>
<p>■ 検診バスが車庫に入っていないが、検診受診者にとっては遠すぎるのではないか。</p>
<p>→ 現在のふれあいセンターのように車庫内に入れることはできないが、庇などによって風雨を防ぎ、プライバシーに配慮する方法も考える。</p>
<p>■ 3Dイメージには、柵や手すりがない。</p>
<p>→ イメージしやすいようにシンプルに作ったが、実際は柵や手すりが付くことになる。</p>
<p>■ 平面ゾーニング比較表に記載されている保健センターは、平面イメージ図ではどこになっているのか。</p>
<p>→ 検診室などを専用の部屋とはしないことにしたことで、明確な区分はできないが、保健福祉課周辺と検診室、診察室などが保健センターになる。</p>
<p>■ 商工会の面積が基本計画から大幅に減少したが、要望された面積は確保して欲しい。</p>
<p>また、にぎわい空間の運営スタッフも商工会事務所に配置するよう検討して欲しい。</p>
<p>→ 先般商工会のヒアリングを行い、什器や備品などの量を確認してきたところであるため、今後の図面には面積を増やした形で反映する。なお、地階に予定している車庫の1台分を商工会用とし、付近に物品庫も設ける予定となっている。</p>
<p>運営スタッフは、1～3名と聞いており、必要面積を確保する。</p>
<p>■ 庁舎北側に公用車車庫を配置しているが、災害時に避難しやすいように、ここを防災広場にしてはどうか。</p>

→ 利便性と管理方法を考慮し、敷地内を大きくエリア分けをしており、庁舎北側は職員のエリア、西側を来庁者のエリアと分けている。
また、庁舎北側は浸水区域ではないが、低い土地であるため、防災広場は高い位置にある庁舎西側に配置した。
■ 執務スペースを新しく感じさせるため執務室の両サイドと奥に賑わい空間があるようにしてはどうか。執務室が町民のにぎわう中に配置したい。
→ セキュリティを考えると、執務室とにぎわい空間の融合は非常に難しいが、にぎわい空間の各室は閉鎖的にするのではなく、様子が見えるように計画する。執務室を印象付けるカウンターや机の配置は、これから詳細を検討する。
■ 天井を高く見せるための吹き抜けは必要なのか。
→ じゃがいもストリートの吹き抜けは、上部に窓を付けて光を取り入れることを目的としている。入口は天井が高く、奥に進むと天井が低くなり、落ち着いたイメージになるように設計した。
■ ジムやスタジオは国道側がいいのではないかと。夜間に営業していれば、室中の光が国道から見る事ができるので、賑わいを感じることができる。
→ 当初は国道側ににぎわい空間を配置することを考えていた。ただ、利用者の利便性を考えると駐車場に近い方がよいこと、現在の配置であっても国道を南側から向かってくると、南窓からの光が見ることもできることから、この位置に配置した。
■ 町民に来てもらえる施設になるように、町民の作品を飾るギャラリーを考えて欲しい。作品と一緒に作成者も紹介し、作品を見せるだけではなく、人と人とのつながりになればいいと思う。
→ 建物を作るだけでは人が集まらないので、これからもっとソフト面をアイデアを取り込んでいきたい。
■ 一時的な避難所の機能を含めることにしているが、避難する場所はどのあたりを利用する設計となっているのか。
→ にぎわい空間にあるサークル室やスタジオ、ジムを想定している。広い空間になるため、じゃがいもストリートも使うことができると考えている。
■ 役場庁舎が閉庁した後の時間帯の管理区画ラインの区切りは、どのようになるのか。
→ 役場庁舎側の全面をシャッターで区切ってしまうとシャッター通りになってしまい、開放的な空間が損なわれてしまうため、ガラスなどの見通しのよいものにしたい。また、職員退庁後は役場庁舎部分が真っ暗になってしまうため、照明の方法についても検討していく。

<p>■ 広い会議室を間仕切り壁で区分して使うことを考えているが、隣の部屋に音や声が漏れないようにしてほしい。</p>
<p>→ 完全に音を遮断することは難しいが、間仕切り壁にもグレードがあり、耳を澄まさないと隣の部屋の声が聞こえない程度まで抑えることはできる。</p>
<p>■ 具体的な形が見えてきたので、夢が膨らむ。とても楽しみ。</p>
<p>■ 意見をする人の立場で資料を作って欲しい。サインやピクトグラムなど、わからない言葉が多すぎる。</p>
<p>■ 小清水町らしさや緑を取り込む工夫をして欲しい。</p>
<p>4 にぎわいのある空間の方向性について（事務局説明）</p>
<p>現在、ルネサンスが中心となり進められているにぎわいのある空間の方向性について、別紙資料に基づき説明を行った。</p>